

# Inspire操作手順 《接続+初期フィット》

## 1: 調整ソフト起動



PatientBase  
をWクリック



パスワード:「123456」  
を入力し、「OK」をクリック

「PatientBase」は、スターキー独自の  
スタンドアロン版の調整ソフトです。

## 2: 顧客選択



ユーザーの追加・選択・編集のために  
画面上の「ユーザー」アイコンをクリック

●新規でユーザーを追加する場合、  
「ユーザーを追加」をクリック

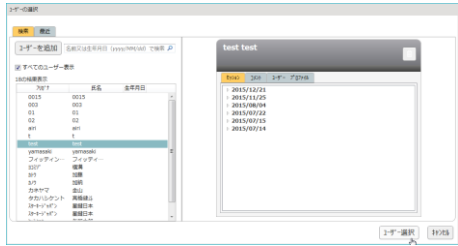
氏名\*を入力し、  
ウィンドウ下をドラッグし、下方向に伸ばし、

「保存して閉じる」をクリック

「ユーザー選択」をクリック



●既存ユーザーの選択の場合、  
「すべてのユーザー表示」をクリック、  
リストからユーザーを選び、  
右下の「ユーザー選択」をクリック



## 3: オーディオグラム



オーディオの追加・編集のために  
画面上の「オーディオグラム」アイコン  
をクリック

現在のオーディオ表示画面の下の

「オーディオグラム編集」をクリック

編集画面でオーディオを入力し、  
画面下の「名前を付けて保存」をクリック

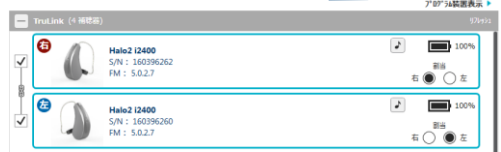


## 4: 補聴器接続

画面左の「接続開始」をクリック  
補聴器に、スターキー専用(紫)調整ケーブル/フレキと接続



※Halo2はTruLinkプログラマーの場合、ワイヤレス接続



✓ で左右の補聴器を選択し、

**開始**  
をクリック

## 5: 初期フィット ※初回調整時のみ表示されます

- ① 音響オプション: イヤピース・耳栓・ベントの選択
- ② 補聴器の経験: お客様の補聴器経験を選択  
※キャンセル不可  
この選択が、「初期フィットの設定」として記憶されます。  
選択肢によって、経験レベルが自動選択される事になります。
- ③ オートパス機能: フィードバックキャンセラーの初期化の実行  
データログのリセット  
※キャンセルも可能
- ④ ユーザーコントロール: ボタン操作を選択設定

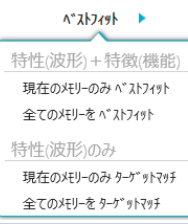
（それぞれの調整は、後からでも変更が可能です。  
ただし、経験レベルの変更自体は可能なのですが、  
②の初期フィットの設定の記憶は変更できません。）



# Inspire操作手順《フィッティング》

## ベストフィット(自動調整) \*1

- 特性(波形)や特徴(機能)の自動調整ボタン
  - ・ベストフィット: 特性と特徴の両方を自動調整
  - ・ターゲットマッチ: 特性のみ自動調整 (選択メモリーのみか、全メモリーかを選びます)
- ※初期フィット時にベストフィット実行済み

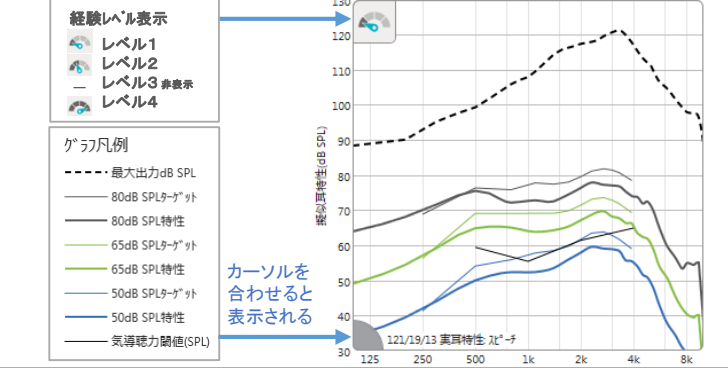


## メモリー選択 \*2

- 環境メモリーを選択できます。(必要な場合のみ)
  - 使用しないメモリーは、無効を選択します。
- ↓青色が選択メモリー
- ▼で環境メモリーを変更



## グラフの見方



## 経験管理 \*3

- 補聴器の使用経験レベルの確認
- 4 パワー(110%)
  - 3 経験豊富(100%) = ベストフィット/ターゲットマッチ
  - 2 ベテラン(85%)
  - 1 未経験(75%) ←補聴器が初めての場合
  - T 移行(フラット気味)

初期フィットを適用 ▶

レベル1

※初期フィットで選択した補聴器の経験レベルに戻します

使用日数合わせて少しずつ音量UPさせる設定の場合、  
✓「自動」にチェックし、期間を設定

残り28日

合計期間  
1ヶ月 ←2週間~6ヶ月

自動

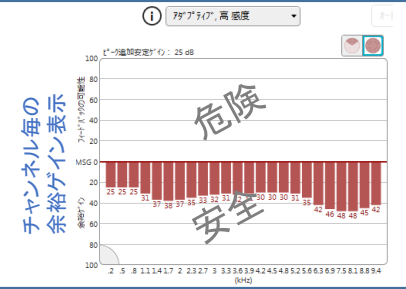
## フィードバックキャンセラー \*4

- フィードバックの初期化をするために「開始」をクリック ←必ず初期化しましょう
- アダプティブ高感度 ←初期設定はここ
- アダプティブ低感度 ←音楽向け
- Off
- ※音質に違和感がある場合、低感度を試みましょう  
(低感度にしてもハウリング抑制の強さに影響はありません)

初期化状況

完了: 余裕が心測定

開始



## お知らせ音 \*5

- 補聴器のお知らせ音を確認・設定
- ①電池交換
  - ②メモリー変更
  - ③ボリューム変更
- ※実行ボタンをクリックして、必ず事前に補聴器から試しに聞いてもらいます

①電池交換

実行

電池交換

②メモリー変更

実行

メモリー変更

実行

ボリューム変更

実行

ボリューム変更

## 保存/終了 \*6

「現在の設定を保存」アイコンをクリックすると、PCの調整履歴に保存可能  
補聴器は、ケーブル/フレキを外すだけでOK

## 会話用メモリーの調整

※接客時の自分の声の大きさに注意!!(重要)

- 落ちついた普通の話し声か、いつものTVの音量を聞いてもらう。
- ・大きい → 全体ゲイン ↓
- ・小さい → 全体ゲイン ↑
- 大きな声がうるさくて耐えられないかを確認する。
- ・耐えられない → 最大出力 ↓
- ・耐えられる → 最大出力 ↑

《最大出力の調整ポイント》 ※90dBくらいの大声で確認します

- ①【あ】の音が耐えられない → MPO全体(特に1~2kHz)を下げる。
- ②【お】の音が耐えられないところまで、750Hz以下のMPOを上げる。

## クイックフィット

こもり感 低周波数 ゲイン 高周波数 最大出力

## ファインチューニング

+	低	+	中	+	高	+	超高域	+	展開
150-500	750-1.1k	1.4-2k	2.3-3k	3.3-3.9k	4.2-5.2k	5.6-6.9k	7.5-9.4k	すべて	
6	4	1	6	5	2	-11	-15	へ 30%	
14	12	7	13	11	7	-5	-14	中程度	
14	15	13	18	15	10	-2	-12	ソフト	
98	114	125	125	121	117	113	103	へ MPO	

## 音楽メモリーの調整

←環境メモリーの「音楽」を選択するだけで、聴力に合わせた音楽専用の音質となります。

- ※音楽の音質調整とは、①小さい音楽が聞こえるか? ②大きな音楽がうるさ過ぎないか? の確認をしましょう
- 音楽を小音量と大音量で再生して、ラウドネス感覚が健聴者と同じに感じるか? を確認します
- ・小音量の音楽とは = カフェ・レストラン・ショッピング店のBGM
- ・大音量の音楽とは = カラオケ・映画観・ライブ会場の音楽

「メディアプレーヤー」でサンプルの音楽を再生できます。  
※研究結果によると、低・中・高の音質確認にはクラシック曲が最適です

## クイックフィット

ミュージックEQコントロール

全てのHz 低音 中間 高音

## ファインチューニング

+	低音	+	中間	+	高音	+	展開
150-500	750-3k	3.3k-9.4k	すべて				
4	2	-5	へ 30%				
14	11	3	へ ソフト				

←ファインチューニング表示では、最大24ch周波数をラウド/ソフトに分けて微調整が可能